

系 統	2液型可とう性エポキシ樹脂系モルタル用結合材
特 長	1) 柔軟性に優れたエポキシ樹脂モルタル用結合材。 2) 硬化性に優れる。 3) 促進剤の添加により、低温下での硬化促進が可能。 4) クリアタイプで、顔料の添加により着色が可能。
用 途	1) SBRモルタル、SBR-FXモルタル用結合材 2) SBRモルタル、SBR-FXモルタル用プライマー
配 合 比	主 剤：硬化剤 = 6：4（重量比）
荷 姿	10kgセット（主剤／6.00kg、硬化剤／4.00kg）
外 観 性 状	主 剤…無色透明液状 硬化剤…淡褐色透明液状 混合物…淡黄色透明液状

可使時間の目安

タ イ プ	通 年 用			
	5	10	20	30
温 度 [°C]				
可 使 時 間 [分]	80	40	20	10

比 重	1.08±0.10（硬化物）
貯蔵保証期間	18か月（未使用、冷暗所保存）
消防法による区分	主 剤 危険物 第4類 第3石油類 非水溶性 硬化剤 危険物 第4類 第3石油類 非水溶性
毒物及び劇物取締法	主 剤 該当しない 硬化剤 該当しない
使用 方 法	1) セット単位または主剤、硬化剤を配合比にしたがって計量して使用する。 2) 主剤、硬化剤を攪拌機で均一になるまで十分に混合攪拌する。 3) モルタルの配合にしたがって、モルタルの練り混ぜを行う。 4) プライマーとして使用する場合は、刷毛などで打設面に塗布する。 5) 着色する場合は、レジンファルト用顔料を#301A 10kgに対し1袋添加し、攪拌機を用いて均一になるまで混合攪拌する。
使用上の注意	1) 接着面の表面処理を十分に行う。（レイタンス、汚れ、水分の除去） 2) 主剤と硬化剤の混合攪拌時、空気を巻き込まないように、低速で攪拌を行う。 3) 可使時間内に作業を終了する。 4) シンナーや水を混入して使用しない。 5) 主剤と硬化剤の粘度差が大きいいため、低温時の混合は主剤を加温して使用すると混合が容易となる。

⚠ 注 意

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 健康上、注意を要する物質を含有しています。 皮膚に付着すると“かぶれ”を起こすおそれがあります。 取り扱い中は、保護眼鏡、保護手袋、保護マスク等を着用してください。 詳細については安全データシート（SDS）を参照してください。 |
|--|